

平成 25 年度 事業 報告 書

I 概況

1. 入館者

平成 25 年 4 月 1 日(月)より、当館は内閣府より「公益財団法人」の認可を受け、さらに館名を「野球体育博物館」から「野球殿堂博物館」に変更し、新たな第一歩をスタートいたしました。名称変更の周知と当館のPRを兼ねて、野球殿堂入りをされた 180 名の顔写真を一堂に掲載した記念ポスターを、プロ・アマ野球界やマスコミを中心とした関係先に配布いたしました。また、長嶋茂雄氏の国民栄誉賞受賞記念の「金バット」、東京ヤクルトスワローズのご協力によるバレンティン選手のシーズン最多本塁打日本新記録となる「56 号のホームランボール」、東北楽天ゴールデンイーグルスのご協力による田中将大投手の「開幕連勝・連勝日本新記録のサインボール」などをタイムリーに展示し、話題作りに努めた結果、平成 25 年度入館者数は 4 年振りに 10 万台を回復し、最終的には前年を大幅に上回る 40%増の 118,720 人(前年比 34,032 人増)となりました。今後も、展示内容の充実、各種イベント策を講じ、入館者数増を図ってまいります。

2. 維持会員

維持会員は法人 48 社(前年比 2 社減)、個人 94 人(同 4 人増)、ジュニア会員 2 人(同 1 人減)となりました。会員特典などの見直しを図り、ファン拡大に努めてまいります。

3. 野球殿堂

競技者表彰の大野豊氏、外木場義郎氏の表彰式を、7 月 20 日(土)神宮球場で開催されたオールスター第 2 戦の試合開始前に行いました。加藤良三理事長(当時)から、両氏へレリーフのレプリカ贈呈に続き、広島東洋カープ出身で殿堂入り 0B の古葉竹識氏、山本浩二氏より花束が贈呈されました。また、特別表彰の福嶋一雄氏の表彰式は、8 月 15 日(木)、思い出の地である甲子園球場で夏の全国高校野球大会の第 2 試合開始前に行いました。加藤理事長からレリーフのレプリカ贈呈に続き、日本高等学校野球連盟の奥島孝康会長より花束が贈呈されました。

平成 26 年の殿堂入りは第 53 回特別表彰委員会から、故・相田暢一氏、第 54 回競技者表彰委員会から野茂英雄氏、秋山幸二氏、佐々木主浩氏が選出されました。これにより、殿堂入り顕彰者は競技者表彰 85 名、特別表彰 99 名、計 184 名となりました。

4. 普及・広報活動

野球振興につながる事案に積極的に対応し、また、当館を紹介する記事、番組の取材や撮影に積極的に協力して広報に努めました。全国野球振興会(プロ野球 0B クラブ)主催の全国少年野球教室にも、当館のパンフレットを 12,050 部提供するなど、開催に協力いたしました。

5. 資料収集

博物館の基礎ともなる展示資料及び図書の収集を積極的に行いました。ご協力いただいた皆様には深く感謝いたします。

①収集資料:3,731 点(前年 653 点)

②収集図書:1,430 冊(前年 1,161 冊)

6. 館外活動

各地で行われた野球関係の展示会やイベントに企画段階から参画したり、実物資料の貸出やデータ提供などで協力いたしました。今年度は、とりわけプロ野球 80 周年関係事業に関する協力案件が多く、実物資料、写真や画像データなどの貸出を行いました。

7. その他

現在の博物館は東京ドーム開場と同時に移転し、新装開館以来 25 年が経過いたしました。その為、空調設備関係の老朽化が激しく、シーズンオフの 11 月 25 日(月)～12 月 2 日(月)の期間、臨時休館とし、館内空調改修工事を行いました。改修工事費の 2,000 万円は三か年計画で積み立てた資金を充当いたしました。